



長良川鉄道
レール&ウオーク

体力レベル 2 時間 00分 距離 6.5km

⑥ 長良川鉄道と里の風景満喫の旅

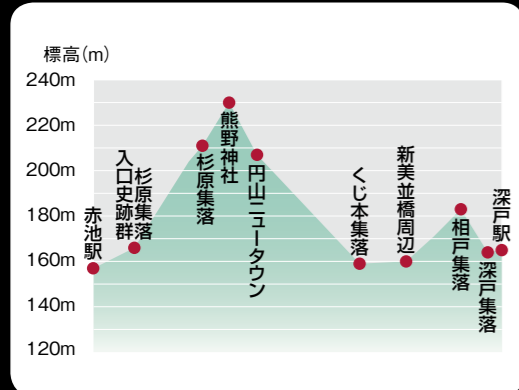
to Fukado st. from Akaike st.

スタートとなる「赤池駅」には自動販売機だけがポツリ。「フーテンの寅さん」がふらりと降りそうなローカル線ならではの風景だ。近くの橋から見える鉄道鉄橋も味わい深い。

駅を出て約5分、山田仏壇店前の十字路が国指定特別天然記念物「神ノ御杖杉」への入口である。看板案内に従って歩いていくと、突如目の前に巨樹が現れる。圧倒的な存在感を発するその樹こそが、樹齢1000年以上と言われる「神ノ御杖杉」。じっくり観賞した後は、奥にある荘厳な雰囲気の熊野神社にも参拝したい。

参道を下って長良川の優しい風景を横目に、くじ本の集落へ。その後、新美並橋付近で八幡神社に立ち寄るのも良い。最後に相戸の集落を抜ければゴールの「深戸駅」はすぐそこ。春には川沿いの桜並木が見事なまでに咲き誇る。駅に着いたら駅舎の一部「喫茶ステーション深戸」にて、ノスタルジックなひとときを過ごして欲しい。旅の良い思い出になること間違いなし。

Course Data 坂道コース



コース全長 6.5km / 最大高低差 73m

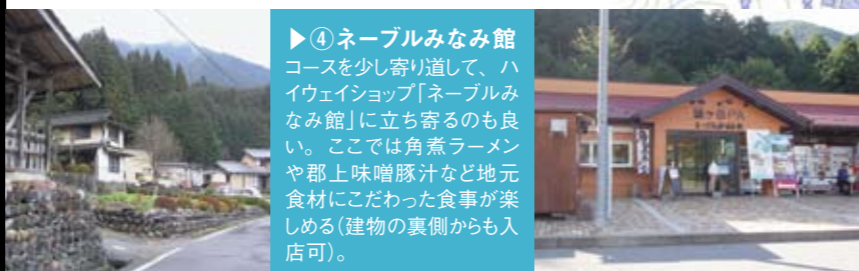


① 赤池駅

田畑の広がるのどかな風景の中にある。周辺の集落には歴史的建造物や石造物も多いので、さらに足をのぼしてみるのも良い。また踏切を越えて歩を進めれば、いかにも長良川らしい河川風景を目にすることができる。



▶▶⑥ 神ノ御杖杉と熊野神社
周囲9.5m、高さ33m、樹齢1000年以上という杉は国の天然記念物。961年、熊野比呂の後応が杖を土に挿したものが育ったという伝説が残る。遠目ではまいち大きさが分からないが、傍で見ると圧巻の一言。

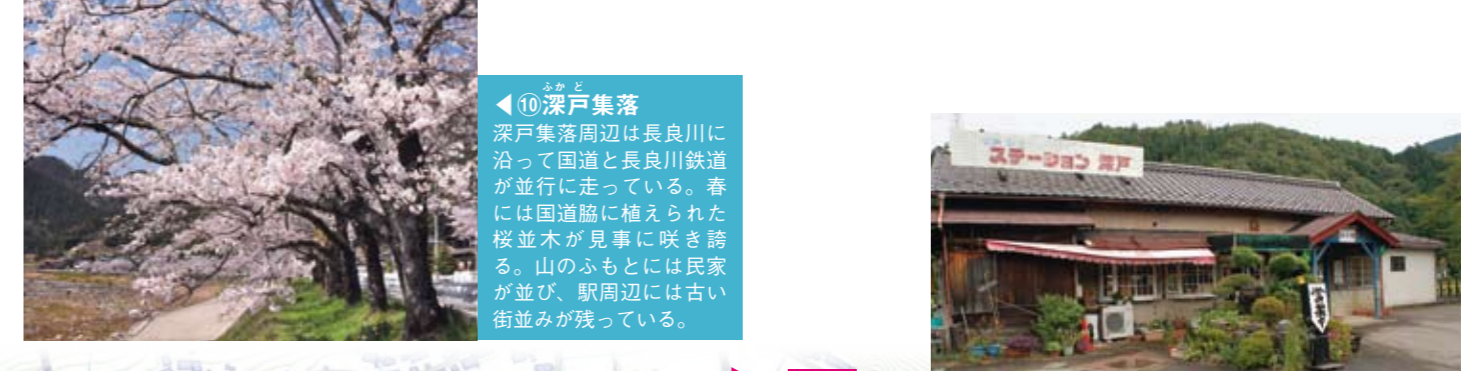


▶④ ナールみなみ館
コースを少し寄り道して、ハイウェイショップ「ナールみなみ館」に立ち寄るのも良い。ここでは角煮ラーメンや郡上味噌汁など地元食材にこだわった食事が楽しめる(建物の裏側からも入店可)。

▲⑤ 杉原集落
神ノ御杖杉への看板案内に従いながらなだらかな坂道を登っていくと、とにかく静かな杉原の集落。美並らしい麦畑の他、茶畑や桑畑、梅林も日本の里らしい風情で、昔ながらの暮らしが目に映る。



◀③ 杉原集落入口
杉原の集落では、入口の右手に石造物群が、5分ほど山に登ったところに石仏馬頭観音が建つ。また近くに史跡・名所の案内看板もあるのでぜひチェックして。ここからが神ノ御杖杉のある熊野神社の参道になる。



◀⑩ 深戸集落
深戸集落周辺は長良川に沿って国道と長良川鉄道が並行して走っている。春には国道脇に植えられた桜並木が見事に咲き誇る。山のふもとには民家が並び、駅周辺には古い街並みが残っている。



▲⑪ 深戸駅
レトロ感満載の駅舎と立派な桜の古木が特徴。駅舎の一部は地元ファンも多い喫茶店「ステーション深戸」。20年近く駅を見守ってきたこの店は、ノスタルジックかつ面白ネタの宝庫。軽食やコーヒーもおいしい。



ふらりと降りたこの場所から
さてどちらに歩こうか

村史には、左手の山中に史跡があると書かれる。山あいには民家が、県道沿いに田畑が並び、静かな集落。

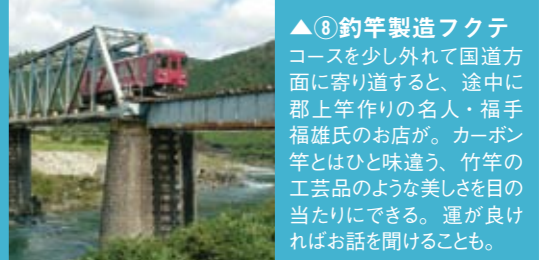
郡上街道のなごりを感じる、昔ながらの落ち着いた町並み。休憩にピッタリ。

高速道路をまたぐ橋を渡ると、突然眼下に現れる住宅地。静かな杉原集落との対比が面白い。

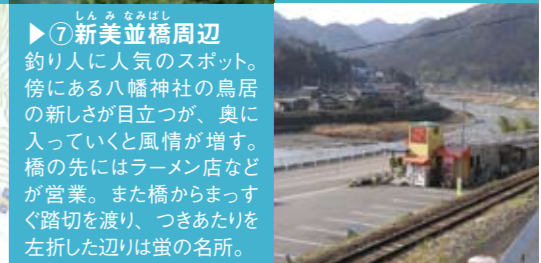


◀⑨ 旧学校跡
緑に覆われた階段と桜並木の先は、かつての小学校。門扉の石造りの柱には「大正九年」と彫られている。長良川と深戸の桜が一望できる隠れた名所で、反対側の階段を使えば深戸駅方面に向かうことができる。

▶② 長良川鉄道第三橋梁
赤池駅の川下にある赤池橋周辺からは、目の前を横切る長良川鉄道第三橋梁がよく見える。清流長良川に架かる単線の鉄橋。その鉄橋を渡る可愛い車両の姿は、ローカル線ならではの光景。



▲⑧ 釣竿製造フクテ
コースを少し外れて国道方面に寄り道すると、途中で郡上竿作りの名人・福手福雄氏のお店が。カーボン竿とはひと味違う、竹竿の工芸品のような美しさを目の当たりにできる。運が良ければお話を聞けることも。



▶⑦ 新美並橋周辺
釣り人に人気のスポット。傍にある八幡神社の鳥居の新しさが目立つが、奥に入っていくと風情が増す。橋の先にはラーメン店などが営業。また橋からまっすぐ踏切を渡り、つきあたりを左折した辺りは堂の名所。

赤池橋の下から見える橋梁が素敵